

# 非典型语言景观的多语服务构建研究—来自日本的实践及启示

韩仲尧

## 摘要

我国目前较少关注非典型语言景观的多语规划及实践,而日本在此方面的语言服务建设则可以为我国提供参考。本文采取抽样调查的方法、定量与定性相结合的手段调查了日本关西地区多所大型商场共 17 本多语种向导手册的服务信息。分析发现,日本商场通过向导手册开展多语服务时呈现出语言选择多元化、读者选择差异化、语用选择全面化、语码选择灵活化的语言特征,并通过不同版本的内容增减展现其面向外国人降低信息负载、增强购物体验的服务策略,但其在多语规范程度方面普遍存在不足。由此,本文基于我国相关语言景观的设置现状在语言环境建设、非典型语言景观规划、多语使用规范方面得出启示。

## 要旨

非典型的な言語景観について、中国は多言語計画と実践への注目が比較的少ないが、日本は関連する言語サービスの展開が中国により参考となれる。本文はサンプリングの調査方法を用い、日本関西地区における複数の大型商業施設を研究対象に、17冊の多言語ガイドブックのサービス情報に対する定量分析と定性分析を行った。分析の結果、日本の商業施設はガイドブックによる多言語サービスを提供する際、言語種選択の多様化、読者選択の差別化、語用的選択の全面化、コード選択の柔軟化といった言語的特徴が現れており、さらに異なるバージョンのコンテンツの増減を通じて、外国人利用者への買い物体験の深化と情報負荷の軽減を図るサービス方針を体现できるが、多言語の使用規範は全般的に不足点がある。これにより、本文は中国における非典型的な言語景観の設置現状に基づき、多言語環境の整備、非典型的言語景観の計画、多言語使用の規範化という三つの側面から提案した。